



Daiwa House PRESENTS
熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter Tour 2022

THE NUT くるみ割り人形 CRACKER

K-BALLET COMPANY 芸術監督

熊川哲也

interview

世界中で愛され、様々なバレエカンパニーによって上演されるクリスマスの風物詩『くるみ割り人形』。そのなかでも、唯一無二を謳う熊川哲也版が、この冬オーバード・ホールにやってきます! 独創的なストーリー展開や次々と移り変わる豪華絢爛な装置など、魔法にかかったような奇跡の時間を富山の皆様へ…。そんな特別な『くるみ割り人形』の魅力を、Kバレエカンパニー芸術監督の熊川哲也さんに伺いました。



熊川哲也 Tetsuya Kumakawa

北海道生まれ。1987年、英国ロイヤル・バレエ学校に留学。89年、ローザンヌ国際バレエコンクールで日本人初の金賞を受賞。同年、英国ロイヤル・バレエ団に東洋人として初めて入団。91年には同団史上最年少でソリストに、93年にプリンシパルに昇格。数々の名演を残し、名実共に世界的ダンサーとしての評価を確立する。98年、英国ロイヤル・バレエ団を退団。翌99年、K-BALLET COMPANYを設立。以来、芸術監督/プリンシパルダンサーとして団を率いるほか、演出・振付家としても才を発揮し、全幕古典作品の演出・再振付や、オリジナル全幕作品「クレオパトラ」や「蝶々夫人」などの新作を数多く発表。2013年、紫綬褒章受章。

今年のクリスマスに贈る
奇跡のスペシャル・ファンタジー

—Kバレエカンパニー版『くるみ割り人形』は、原作童話のエッセンスが抽出されていますが、そのきっかけや理由をお聞かせいただけますか。

Kバレエで『くるみ割り人形』を初演したのは2005年になります。新作を創るにあたって意識したのは、19世紀に上演された古典から逸脱せずに、物語の整合性を高めることでした。なぜクララは人形の国へ行くことになったのか。くるみ割り人形は何者なのか? そのようなことをホフマンの原作から紐解いていき、通常のパレエ作品にはない要素を加えたのです。さらに、通常子供向けとも言えるシンプルなストーリーで描かれる『くるみ割り人形』に、冒険活劇の要素を加えたいとも考えました。

普通のパレエでは、1幕の終盤以降はすべて夢の中の出来事として描かれることも多いですが、私の版ではクララが本当に体験したことだと感じられるように描いています。子供ならではの感性が、大人にとっては非現実的な幻想のような冒険をリアルにする。このような冒険的な要素と物語の整合性を高めたことで、子供だけでなく、大人まで多くの方に楽しんでいただける作品になったと自負しています。



—作品の見どころをお聞かせください。

幕が降りるまで見どころの連続だとは思いますが、第1幕終わりにクララが訪れる雪のシーンも他のバレエ団とは一線を画す演出になっています。猛吹雪の後に訪れるしんと降りる雪の静寂さと清らかさ、その詩情を抱いたのは私が北海道出身ということも無関係ではないでしょう。富山の方々も様々な雪景色をご存知でしょうか、ぜひ楽しみにしてください。

舞台のセットと衣裳も、見どころのひとつです。英国美術界の巨匠ヨランダ・ソナベンドと若手のレズリー・トラヴァースとともに作り上げましたが、ツリーが大きくなるシーンなどは、大変アドベンチャラスな音楽との相乗効果で視覚的インパクトが絶大な舞台転換を実現しています。

—『くるみ割り人形』という作品への思いをお聞かせください。

オーケストラにとって、年末の「第九」が欠かせないように、バレエ団にとっては『くるみ割り人形』が風物詩のような位置づけになります。世界中で毎年決まった時期に上演される作品というのは他に見当たりませんから、それだけ多くの方に愛されているという証でしょう。

第1幕、クララだけに天使が見えるシーンがあります。純粋な心の持ち主だからこそ天使が見えるわけですが、こうした眼差しというのは、子供のときは多かれ少なかれ誰も持ち合わせているものだと思います。大人になると皆その感覚を忘れてしまいますが、どこかで覚えている純粋な感情に『くるみ割り人形』を通して思いを馳せることができると思います。

—ツアー公演の醍醐味がございましたら、教えていただけますか。

様々な劇場に出会えることは興味深く、東京で何度も上演された作品でも劇場が変わると見え方が変わるものです。ダンサーにとってはお客様との距離感なども変わりますし、反応も異なりますから良い挑戦でもありますね。私自身がツアーで何十公演と踊っていた時は、各都市ごとに振付を少し変えてみたりもしたものです。

観光をする時間は全くありませんが、各地の名産を味わうことを楽しみにしているダンサーは多いと思いますよ。

—富山の皆さんへメッセージをお願いします。

オーバード・ホールは、ロイヤル・バレエ時代にも訪れており、最初に踊った時から大変素敵な劇場だという印象を抱いています。その後も幾度となく訪れていますが、毎回温かいお客様が多いと感じています。富山は美食の地であることも魅力的ですね。美味しい白エビに舌鼓を打つのも、訪れる度に楽しみにしています。

【STORY】 時は19世紀初め。人形の国では以前よりねずみたちとの領地争いが起こっている。ある日、ねずみの王様は人形王国に魔法をかけ、マリー姫をねずみに、婚約者の近衛兵隊長をくるみ割り人形に変えてしまう。魔法を解く方法はただ一つ、世界一硬いクラカトックくるみを割るしかない。だがそのためには純粋無垢な心を持つ人間の力が必要だ。人形の王から命を受けたドロッセルマイヤーはこの人物を探すため、人間界へと旅に出る。そこで出会った少女クララに待ち受けるものは…



公演情報

Daiwa House PRESENTS

熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter Tour 2022

くるみ割り人形

◆日時: 2022年12月23日(金) 19:00開演

◆会場: オーバード・ホール

演出・振付: 熊川哲也

音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

指揮: 井田勝大

演奏: シアター オーケストラ トーキョー

出演



マリー姫
飯島望未



くるみ割り人形/王子
山本雅也



クララ
世利万葉



ドロッセルマイヤー
グレゴワール・ランシエ



雪の女王
日高世菜



雪の王
石橋奨也

◆チケット: [全席指定・税込]

S席: 13,000円 A席: 10,000円

B席: 7,000円 C席: 5,000円

U-25: 3,000円

※U-25: 鑑賞時5歳以上25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。

※5歳未満入場不可。

助成: 文化庁 子供文化芸術活動支援事業



◆プレイガイド: アスネットカウンター

★チケットのお求めは

P11「チケット購入方法」をご覧ください。

※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。最新のキャスト情報はオーバード・ホールHPにてご確認ください。